

三重県史

通史編 中世

# 目次

口 序 凡 例  
口 序 凡 例  
口 序 凡 例

## 第一章 鎌倉幕府の成立と守護の支配

### 第一節 源平の争乱と東国武士の進出

- 1 内乱の勃発と平氏の都落ち 1
- 2 東国武士の進出と平氏余党の蜂起 9
- 3 守護・地頭の設置と源頼朝の伊勢神宮保護 17

### 第二節 三日月氏の乱と伊賀・伊勢の守護

- 1 三日月氏の乱と参加者たち 30
- 2 伊賀と伊勢の守護 39
- 3 伊賀守護千葉氏とその活動 46

### 第三節 伊勢守護の動向と神領興行法

- 1 伊勢守護金沢氏と北条氏一門の所領 53
- 2 伊勢神宮領とその興行 62

第二章 莊園と御厨の世界

第一節 伊勢神郡の変容

- 1 伊勢神宮祭主の神郡支配と郡政所 74
- 2 神郡の様相 79

第二節 伊勢の御厨・御園と莊園

- 1 伊勢の莊園制と公郡の御厨・御園・莊園 87
- 2 神郡の御厨・御園・莊園 105
- 3 曾祢莊 120
- 4 智積御厨 129
- 5 石樽御厨(石樽莊) 142
- 6 川合・大國莊 152

第三節 志摩・紀伊の御厨・莊園

- 1 中世志摩國を探る 169
- 2 神宮領 174
- 3 王家領 181
- 4 摂関家領 184
- 5 熊野社領 187

第四節 伊賀の莊園・御厨

- 1 伊賀の莊園制と諸権門領 191
- 2 黒田莊 207
- 3 玉瀧柚 231
- 4 広瀬莊・阿波莊・山田有丸名 243

第三章 神人・供御人と悪党

第一節 神人・供御人の活動

- 1 神人と流通 254
- 2 供御人の活動 266

第二節 蜂起する悪党たち

- 1 黒田悪党の登場 274
- 2 志摩と熊野の悪党・海賊 289

第四章 伊勢神宮の動向と仏教の新展開

第一節 神仏習合と伊勢神道

- 1 伊勢神宮における神仏習合 299
- 2 神宮法衆をめぐる動き 310
- 3 伊勢神道の成立 318
- 4 両宮の対立と神宮の活動 330

第二節 鎌倉時代の伊勢神宮和歌史

- 1 西行と神宮神官 342
- 2 「神風」後の伊勢 351
- 3 外官神官の時代 356

第三節 鎌倉仏教の広がり

- 1 重源の勧進活動 360
- 2 禪律僧の展開 367

第四節 『作善日記』の世界

- 1 『作善日記』とは 380
- 2 作善の背景 391

第五章 南北朝の内乱

第一節 内乱のはじまり

- 1 建武の新政と室町幕府の成立 402
- 2 南朝方の反攻 409

第二節 伊賀国の動乱

- 1 建武の新政と悪党 421
- 2 悪党と仁木義長 435

第三節 うちつづく内乱

- 1 観応の擾乱と伊勢国 429
- 2 南北朝内乱の終結と伊勢国 437

第六章 守護・国司と国人たち

第一節 伊勢守護と伊勢国司

- 1 室町期の伊勢守護 450
- 2 戦国期の伊勢守護 466

第三節 混乱する幕府の政策

- 3 混乱する幕府の政策 471

第二節 北伊勢国人たちの世界

- 1 さまざまな国人 476
- 2 室町幕府体制下の北伊勢国人 493
- 3 応仁・文明の乱と北伊勢国人 501
- 4 北伊勢の戦国 505
- 5 国人と文化 514

第三節 志摩・熊野と海民の世界

- 1 志摩と熊野灘沿岸部の地域関係 519
- 2 中世後期の地域と領主 522

第四節 室町・戦国期の伊賀の守護と国人の動き

- 1 歴代の守護とその活動 533
- 2 伊賀衆の動き 544

第七章 一揆する人々と村の社会

第一節 村の社会

- 1 惣村と地侍 560
- 2 自治を行う地域―惣郷・郡中惣・惣国一揆 565

第二節 村の一揆と徳政衆

- 1 伊勢国小倭郷一揆 574
- 2 徳政衆と徳政免除 578

第三節 中世の集落と墳墓

- 1 中世前期(十一世紀後半～十三世紀)の集落 585
- 2 中世後期(十四世紀～十六世紀前半)の集落 600
- 3 中近世移行期(十六世紀後半)の集落 605
- 4 建物構造と規模 608
- 5 中世の墳墓 615

## 第八章 交通の発展と都市の展開

目次

### 第一節 河海の水運と警固

- 1 神船と警固 628
- 2 東国との交易 634
- 3 本警固と新警固 639
- 4 神宮と廻船 651

### 第二節 街道・関・都市

- 1 鈴鹿の峠越 666
- 2 参宮路と関所 676
- 3 関の諸相 687
- 4 北畠氏と関所 699

### 第三節 神宮周辺の都市と地域社会

- 1 山田三方の成立と展開 705
- 2 内宮と宇治六郷 718
- 3 港湾都市と災害 726
- 4 山田・宇治の検断と所務沙汰 730
- 5 都市・在地社会・領国権力 737

### 第四節 生業と流通

- 1 水田と畠 750
- 2 山の生業 756
- 3 塩生産と漁業 764
- 4 金属製品の生産 772
- 5 土器生産 777
- 6 中世の物流 784

## 第九章 近世の胎動

### 第一節 北畠氏の動向

- 1 室町期の北畠氏 800
- 2 戦国期の北畠氏 810
- 3 戦国末期の北畠氏 820

### 第二節 伊賀惣国の成立と解体

- 1 惣国掟書の成立 829
- 2 掟書成立後の惣国 836

### 第三節 中世の城館

- 1 中世前期の城館 841
- 2 中世後期の城館 843
- 3 中近世移行期の城館 860

## 第十章 文化の新しい動向と宗教の広がり

### 第一節 伊勢信仰と熊野信仰

- 1 室町殿の伊勢参宮 865
- 2 伊勢御師の成立 875
- 3 式年遷宮の中絶と復興 883
- 4 熊野信仰 893

### 第二節 室町・戦国期の寺院と仏教文化

- 1 禅宗諸派の展開と天台系・真言系の寺々 899
- 2 浄土宗・真宗・時宗諸派の展開 912
- 3 天台真盛宗の展開 928

目次

第三節 石造物の展開……

目次

1 歴史のなかの中世石造物 939 2 信仰の表徴と石造物 941

3 石塔・石仏の諸相 945 4 地域の領主と石造物 951

5 墓石の誕生 953 6 熊野の町石 956

第四節 伊勢の連歌と猿楽……

1 南北朝期の神宮連歌壇 961 2 伊勢国司北畠家の連歌 964

3 室町期の神宮連歌壇 968 4 伊勢猿楽座の歴史 976

執筆者一覧

協力者一覧

あとがき

図版・表の出典等一覧

口絵目次

1 伊勢曼荼羅

2 北畠家連歌合

3 北畠満雅書状

4 伊賀国黒田荘地下百姓等連署起請文

5 無外逸方寿像

6 宝樹寺地藏菩薩坐像

7 北畠氏館跡庭園

8 熊野古道八鬼山道

9 『作善日記』

10 真盛上人像

11 真慧上人像

12 梅戸貞実書状

13 伊坂城跡

14 箕升氏館跡

目次

